



現在のふるさと蒲郡応援寄附金返礼品

鈴木貴晶 (自由クラブ)

ふるさと蒲郡応援寄附金の特典について

**問** ふるさと蒲郡応援寄附金の返礼品のうち、冬の特典として、ミカンの木のオーナーになってもらうことについて、市はどのように考えているのか。

**答** ミカンの木のオーナーになることは、木の選定や収穫で蒲郡に来てもらい愛着を持っていただく、よい事業だと思う。ただ、民間の団体が行う事業などで、金額の設定や時期など問題点があり、財務課との協議が必要と考えている。

クラウドファンディングの活用について

クラウドファンディングの活用について

**問** インターネットを活用して、不特定多数の支援者から、事業の活動資金を調達するクラウドファンディングについて、市の考えや取り組みについて伺う。

**答** 政府においては、この手法を地方創生にいかす動きもあり、適切に対応しなければならぬ状況にきていると感じている。先進事例やメリット、デメリットを研究したいと考えている。

**問** 東山動物園では、コアラのえさ代の支援を呼びかけたコアラ応援プロジェクトが成功した。竹島水族館でもアシカの購入資金を募り、出資者に水族館のフリーパス券やアシカショーへの招待など特典を付けた資金調達ができないか。

**答** 先日、竹島水族館ではアシカのアイちゃんが亡くなり献花台が設置された。動物の購入について、指定管理者に相談したいと思っている。

大向正義 (無会派)

3歳児から5歳児の保育料等の無料化を

**問** 人口減少対策として、蒲郡市も保育料などの無料化を実施できないか。

**答** 市が実施した場合、保育園、幼稚園合わせて約3億3千万円の財源が必要で、実施は厳しいと思う。

**問** 競艇事業からの繰入金による子育て教育支援基金を創設し、無料化や減額に利用できないか。

**答** 無料化の財源を競艇事業に求めると、繰り出す他の事業運営に及ぼす影響が大きく難しいと思う。



**問** 行政改革による節減、保育園の民営化、競艇事業の売上げ向上で財源を生み出し、保育料などを毎年10%削減、10年で無料化することが一つの大きな施策となるのではないか。

**答** 今のところ厳しい財政状況の中であり、まずは堅実な行財政運営を考えたいかと思っている。

高齢者のための居場所づくりについて

**問** 高齢者の閉じこもり防止や認知症予防のための居場所づくりが必要である。これを全市的に行うために、協議会的なものをつくってはどうか。

**答** 協働のまちづくり事業のモデル事業として、居場所づくりが候補に挙がっていると思う。この動向を注視しながら、可能性を検討したい。

**問** 居場所づくり事業の予算化はどうか。

**答** 現時点では、具体的な動きはなく、モデル事業の動向を見ながら市ができる支援策を検討したい。

日恵野佳代 (無会派・日本共産党)

児童発達支援センターの早期設置を



**問** 児童発達支援センターは、発達の気掛かりな子どもが、小さいうちに専門職員の適切な対応やトレーニングを受けることで、発達に大きな助けとなる施設である。市は、この施設の必要性をどう認識し、障害福祉計画と子ども・子育て支援事業計画に書き込んだのか伺う。

**答** 本市でも、障害まではいかないけれども発達